

星になったマエストロへ捧ぐ、一夜限りの調べ

2024年12月26日、クリスマスの終わりとともに旅立った作曲家、冬木 透こと蒔田尚昊。その音楽を未来へとつないでゆく、祈りと記憶の第1回公演を開催します。

第1部：作曲家・蒔田尚昊の「真髓」を辿る

第1部は、長年教鞭をとった桐朋学園大学音楽学部出身の数名によって結成された「桐柊会」メンバーによる「交響詩ウルトラセブン」を、ピアノ2台の8手連弾に弦楽器とパーカッションを加えた鮮烈な編曲で聴かせます。そして母校である広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団は被爆地広島、そして日本の人々に深く心を寄せた合唱曲を歌います。蒔田尚昊の精神性を最も近くで受け継いできたゆかりある奏者たちが、その「真髓」を紐解きます。

第2部：ウルトラ音楽の「父」・冬木 透の新たな響き

第2部は、「交響詩ザ☆ウルトラマン」より第2楽章、そして冬木 透の代表作「ウルトラセブン」の音楽を中心に、Jスcolaーズの男声合唱による歌の数々、また冬木 透の代名詞にもなった各時代の「ワンダバ」をメドレーで演奏します。特筆すべきは、晩年の創作活動を共にした作曲家・栗山和樹氏による本公演のための「渾身の新アレンジ」です。ホールサイズに合わせた精鋭の小編成へと再構築。音の厚みに隠れていた旋律の繊細さ、その一音一音の密度を、宮松重紀指揮、東京21世紀管弦楽団の演奏でお聴きいただけます。これまでとは異なる、優しくも力強い「新たなサウンド」の誕生に、どうぞご期待ください。

「蒔田尚昊&冬木 透 〜その音楽のある一片〜」コンサートは、2つの名前を持つ稀代の作曲家が遺した魅力ある音楽を、今後も継続的な公演を通じてご紹介して参ります。

PROFILE

桐柊会(とうしゅうかい)

桐朋女子高等学校音楽科の3年時に蒔田尚昊クラスに在籍していた仲間が、2006年のクラス会を契機に設立。以降、当会の特色である2台8手ピアノと打楽器、弦1、管1、という編成による演奏活動を展開してきた。その演奏は各方面より高い評価を得、「音楽の友」誌において2009年度のコンサート・ベストテンに選出された。

会の名称は、桐朋の「桐」、冬木 透が好きだった「柊(ひいらぎ)」に由来する。



宮松重紀&東京21世紀管弦楽団

指揮：宮松重紀

横浜国立大学を卒業後、東京藝術大学指揮科を首席にて卒業。指揮を山田一雄、遠藤雅古の各氏に師事。イタリアのキジアーナ音楽院で、ロジェストヴェンスキーに師事。

1989年、新星日本交響楽団を指揮してデビュー。1992年、東京オペラ・プロデュース公演《ドン・ジョヴァンニ》でオペラデビュー。以来、東京フィル、東響、東京シティフィル、神奈川フィル、仙台フィル、群馬響・広島響・大阪センチュリー響・中部フィル等を数多く指揮。また新国立劇場や二期会を始め、全国各地でのオペラ公演も数多く指揮。2001年、新国立劇場主催公演《花言葉》(ロッシーニ作曲)では音楽の友誌等に高評を得た。2008年、ミラノ・スカラ座にて研修。合唱指揮者として、サイトウ・キネン・フェス松本、ウィーンフィル来日公演、サンクトペテルブルク・フィル、シカゴ響、その他、NHK交響楽団、東京都響、読売日響の定期演奏会等に客演。



東京21世紀管弦楽団

東京国際フォーラムを活動拠点とする正統派オーケストラ。2019年設立。東京芸術劇場、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティなど都内の主要ホールで活動を展開している。2019年、オスカー新人賞歌手のステファン・ポップほかビッグスターたちと共演。同年8月、ミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月「BBC PROMS」に出演。2023年1月、「ホセ・カレーラス&ドミンゴ」コンサート、同年5月、4年ぶりに開催された「ラ・フォル・ジュルネ・TOKYO 2023」に出演するなど急速に活動の場を広げている。

広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団

広島県立広島観音高等学校は蒔田尚昊の母校。この広島観音高校音楽部で歌った仲間を中心に、2001年1月にOB合唱団を結成。昭和39～50年度に顧問を務めた益田 遼の指揮で、2002年8月に第1回祈念コンサートを開催。昭和20年8月6日に母校の前身、旧制広島第二中学校1年生を襲った原子爆弾の悲劇を綴った合唱組曲レイクエム「碑」を大切に歌い継いでいる。

広島県外の団員も多く、関東在住メンバー中心の活動も活発で、「合唱と朗読による いしふみコンサート」などを精力的に企画している。2010年広島ユネスコ活動奨励賞受賞。



Jスcolaーズ(男声合唱)

2014年結成。これまでの合唱の常識を打ち破る斬新な編曲と華やかなパフォーマンス、そして聴く人の心を捉える熱い歌声とハーモニーで、唯一無二の『合唱エンターテインメント』を全国各地に届けている。音楽監督は、ピアニスト、チェンバロ奏者、合唱指揮者の榎本 潤。メンバーはソリストとしても活躍する声楽家を中心に結成されており、BS-TBS『日本名曲アルバム』等メディアへの出演や、全国各地でのホール公演、学校芸術鑑賞会なども精力的に行っている。これまでに2枚のCDと1枚のDVDをリリース。コロナ禍ではリモート合唱動画の制作が好評を得る。

2022年には『ウクライナ国歌』の合唱動画をYouTubeに公開し、世界各国からの反響のもと音楽を通じた平和と反戦を訴えている。2023年11月に初監督による楽譜『華麗なる混声合唱曲集』がドレミ出版より発売された。本公演では男声合唱として出演する。



ACCESS MAP



第2部 編曲：栗山和樹

1963年兵庫県神戸市出身。作編曲家。国立音楽大学音楽学部作曲学科首席卒業、有馬賞を受賞。同大学院修了。文化庁在外研修制度により米スタンフォード大学CCRMA（コンピュータによる音楽・音響研究所）に留学。シンセサイザー、コンピューター・プログラミングを学ぶ。映画音楽研究により大阪大学大学院文学部で博士号を取得。映画「極道の妻たち」、NHK大河ドラマ「北条時宗」、NHK朝の連続テレビ小説「芋たこなんきん」の音楽をはじめ、ドラマ、映画音楽を数多く担当。NHK「名曲アルバム」、NHK紅白歌合戦など音楽番組、アーティストによるアルバム、コンサートで編曲を手がける。

近作では北大路欣也主演「三屋清左衛門残日録」シリーズなど時代劇の音楽を多く担当している。